

田口掬汀 たぐち 小説家、劇作家、美術評論家。明治八年一月十八日

秋田藤生乳、明治十八年八月九日歿（八五—九四）。本名鏡次郎、幼

名藤治。筆名及びほ生、みぎわの生、みぎわの生、掬汀漁郎、掬汀生等。

新聲社記者を経て朝報社、次ぐ大阪毎日新聞社入社。傍ら小説、脚本

多數發表。後年美術研究に専心。芥川實作家高井有一の祖父。

著書『片舟波』（明治二十四年七月）、『新婚旅行』（徳生）

村添山共著、明治二十四年七月十八日新聲社）、『京教文學』（明治

二十五年一月）、『二十四日新聲社』、『青年叢話』（合著、上の巻・明治

二十五年）二月十五日、下の巻・五月十五日新聲社）、『七國の縮圖』

（新聲社同人・合著、明治二十五年二月十五日新聲社）、『現代百人

豪・第參編』（合著・新聲社編、明治二十五年四月八日新聲社）、『別

れ路』（明治二十五年四月十日新聲社「ヤカツキ」）、『魔詩人』（明

治二十五年十月十五日新聲社）、『人の罪』（明治二十五年十一月）

十日金港堂書籍株式會社）、『女夫波』全二冊（前編・明治二十七年

七月十五日、後編・十月一日金色社。文獻、青葉生作『女夫波の詩』

内題「女夫波の歌」四十一年九月）、『二日盛林堂書店）、『幻影』（明

治二十七年十一月十五日新潮社）、『極楽村』（明治二十八年六月）

十五日新潮社）、『情の入』（明治二十八年九月十日隆文館）、『萬朝

短篇小説傑作集』（選、明治二十八年九月十五日鹿鳴社）、『心の波

・上巻』（明治二十九年五月十五日自刊、上田屋發賣）、『黒風・前

編』（明治二十九年十一月四日春陽堂）、『萬朝短篇小説傑作集』（選、

明治四十年九月十五日入盛堂書店）、『魔詩人』（明治四十年十一月

二十日精華堂書店）、『怪光』全二冊（前編・明治四十一年六月十五

日、後編・九月十五日不振會)、
『猛文』(明治四十一年八月十五日
高有倫堂)、
『秋田文名蹟々々』(公著・青柳有美編、明治四十一年
八月八日秋田・大島商會)、
『社会者』(明治四十一年十一月十日春
陽堂)、
『家の柱』(明治四十四年八月二十八日高有倫堂)、
『第
一人』(明治四十四年十月十五日春陽堂)、
『北の國』(明治四十五
年七月七日高有倫堂)、
『ふたおとこ』全二冊(前編・大正五年一
月十四日、後編・四月二十日新潮社)等。